

臨床心理学

責任者：藤巻 峻
学年・学期：第1学年・後期

単位数：1単位(15時間)

◆一般目標(GIO)

なぜ、あの人はそのように行動するのか？このような疑問は臨床家だけでなく、日々の生活で誰もが不思議に思うことである。本講義では、現実社会における様々な事例を挙げ、臨床心理学の視点からそれらがどのように解決されてきたか、あるいはどのようにすれば解決できるのかについて論じる。それとともに、そうした解決策の背後にある行動の原理や、基礎研究で明らかにされてきた知見について紹介する。本講義を通じて、現実社会に存在する様々な問題を臨床心理学的な視点で捉えること、そして具体的な解決策について考えられるようになることを一般目標とする。

◆到達目標(SBOs)

1. 心や行動、刺激、環境などのキーワードの意味・用語を理解できる。
2. 基礎研究における方法論を説明できる。
3. 学習の基礎的知見を説明できる。
4. 心理学の基礎がどのように臨床場面に応用されるかを説明できる。
5. 現実的な問題に対して、臨床心理学的な視点から解決策を提示できる。

チェック

--	--

◆学習方法

講義とディスカッションが主体となる。補助的に黒板への板書や、時に資料の配布を行う。授業内では積極的な発言を求める。その他、注意事項を初回の講義で説明する。

◆評価方法

出席や授業内レポートを加味して評価を行う。

◆教科書

使用しない。

◆参考書

必要に応じて授業内で紹介する。

回数	項目	講義内容	担当
1	心理学と心	心の在処	藤 巻
2	臨床の基礎	レスポナント条件づけ	〃
3	臨床の基礎	オペラント条件づけ	〃
4	臨床の基礎	ABC分析	〃
5	臨床の基礎	強化スケジュール	〃
6	基礎的知見の臨床応用	様々な事例紹介	〃
7	基礎的知見の臨床応用	発達障害児・者の問題行動への応用	〃
8	基礎的知見の臨床応用	恐怖症、うつ病、不安などへの応用	〃
9	基礎的知見の臨床応用	維持、般化、再発について	〃
10	まとめ	全体のまとめ	〃